

クラスの様子【11月号】

●ひよこ組 今月の目標 戸外に出て外気浴や秋さがしを楽しむ。

季節の変わりめとなり寒暖差が大きく体調管理が難しくなってきました。秋晴れの天気の良い日にはグループにわかれてお散歩に出かけたり、ベランダから園庭で遊ぶお兄ちゃん、お姉ちゃんの様子をみたりして身体を動かすことを楽しんでいます。離乳食から幼児食に切り替わる子も増えてきて、いろいろな食材が食べれるようになりました。自分で食べたいという意欲がでてきたり好みははっきりしてきていたりしています。離乳食期からしっかりとともぐもぐして食べる習慣を身につけ噛む力をつけ咀嚼を大切にしていきたいです。食欲の秋、色々な食材を口にして強い身体作りにつなげていければいいと思います。11月に新しいお友だちが1名増えました。これからも、みんなで楽しく過ごしていきたいと思います。(矢下)



●りす組(もも) 今月の目標 戸外で体を動かしたり、自然物に触れながら様々な遊びや発見を楽しむ。

朝晩と少し肌寒くなり、段々と秋らしい季節になってきました。日中、天気の良い日は散歩に出かけたり、西の広場で遊びました。散歩では、一人一人のペースはありながらもしっかりと歩けるようになってきました。好きな場所に行ってお散歩バックに入れて、歩くたびにゴロゴロと実の音が聞こえるのを楽しんでいました。西の広場では、砂遊びでじっくりと遊ぶ子がたくさんいました。カップに砂を入れて自分の好きな食べ物に見立てて作り、友達や保育士に“どうぞ”“いただきます”“おいしい?”などやりとりをしながら遊んでいます。少しずつ自分の好きな物や身近な物を想像して作る見立て遊びをする姿が増えてきました。また、言葉が増えてきて2語文が出る子や単語を言ったりと生活の中で見たものや感じたことを子ども達なりの言葉で伝えようとしてくれています。そんな子ども達の思いを共感したり、色々な場面で言葉をかけたりして楽しく言葉を覚えたり、やりとりの中で人との関わりを身近に感じられるように温かく見守り、関わっていききたいと思います。(三浦)



●りす組(いちご) 今月の目標 体調面に気を付けながら戸外でたくさんの自然に触れる。

外に出るとどんぐり、椎の実など木の実がたくさん落ちてくるようになりました。そこで自分で好きな色を選んでお散歩バックを作りました。椎の実やどんぐり、葉っぱなどを見つけてお散歩バックに入れていきます。どんぐりと椎の実を拾って手のひらに乗せ、大きさや色の違い、数を数えてみたり帽子がついている物を見ついたり椎の実のカラをむいてみたり、どの場面でも子どもたちはジーっと木の実を見つめています。拾って終わりではなく歩いている途中でカバンを揺らしてカラカラと音になることに気が付いたり、しゃがんだ時に中身を落としてしまい、それに気づいた周りのお友だちが拾ってあげたりと優しい関わりもあります。保育園に帰ってきた時には中身が空っぽになっている子もいますが少しずつ中身が減らないまま帰ってくる事が出来るようになってきて、子どもたちなりに落とさない工夫をし、自然物を通じて色々な事を感じています。これからの季節、段々と冷え込みも厳しくなってきますが体調面に気を付けながら過ごしていきたいと思います。(谷口)



●赤うさぎ組 今月の目標 遊びや生活の中で、友だちとの関わりや言葉のやり取りを楽しむ。 秋の自然に触れながら、散歩を楽しむ。

散歩に出掛ける中で、コオロギやバッタを見つけて捕まえたり、どんぐり、椎の実を見つけては、色、形、大きさなどを友達と比べあつたりと、沢山の自然に触れる中で友達との関わりを楽しんでいます。又、園庭でも大きな子の姿を見て、登り棒に挑戦したり、棒を両手で掴んでから、足を絡ませてから下りることが出来るようになってきました。コーナーではピクニックごっこで友だちとのやり取りを楽しんだり、パズルを通して形を考えて組み合わせることを何回も繰り返す中で、できた事の達成感などを味わっています。おゆうぎ会に向けての劇遊びも、室内、園庭、散歩先で設定して楽しんでいます。子どもたちの楽しいという気持ちを大切に、今までやってきた言葉のやりとりや歌を取り入れて進めていけたらと思います。(澤井)



クラスの様子【11月号】

●**白うさぎ組** **【今月の目標】** 友達や保育士と関わる中で、自分なりの言葉で伝えようとする。・劇遊びやごっこ遊びに楽しんで取り組む。

肌寒い季節になってきました。日中の温かい時間は、お散歩に出掛けたり、園庭遊びを楽しんでいます。先月は園庭にあるビックスライダーや安田式遊具、カラーボックスに挑戦しました。最初は怖くて嫌がったり、保育士に身をまかせていた子ども、手伝ってもらいながらできると「もう一回！」と楽しそうに何回も挑戦していました。なかなか勇気の出なかった子ども周りの友達の姿をじっとみてやってみようとする姿がありました。登ったり、走ったり、ジャンプしたりと遊びの中で様々な動きをしながら、身体づくりをしていけるといいなと思います。また、生活の中で自分で出来ることは自分で出来るように見守ったり、友達同士で刺激を受け合えるといいなと思います。(真里亜)



●**とちのき組** **【今月の目標】** おゆうぎ会に向けて、友だちと一緒に表現することを楽しむ。

10月は過ごしやすい気温の中、散歩に出掛け、キンモクセイの匂いに気付き探したり、カラスウリやどんぐりを見つけたりと秋の自然にたくさん触れることができました。子どもたちは様々な植物に興味を持ち、見つけた植物を図鑑で調べて自分たちで特徴を書き、お部屋に掲示もしました。絵本コーナーに置いてある図鑑にも関心を持ち、よくみんなで読んでいます。また、散歩に持っていく双眼鏡や虫メガネ、カバンなどを自分たちで制作しました。双眼鏡には自分の好きな色のセロハンを貼り、のぞいたときの色の変化を楽しみ、友だちの双眼鏡と見比べたりして楽しみ、新たな発見もできました。室内では、つみきやトランプを使って見立て遊びをしていたことをきっかけに、廃材を使って食べ物やお金を作り始めました。おいしそうな食べ物がたくさんでき、子どもたちも関心を持っているので、コーナーに取り入れていければと思っています。おゆうぎ会の劇の話を子どもたちに伝え、自分でしたい役を決めました。これから練習も本格的に始まっていくので、楽しみながら進めていければと思います。(平塚)



●**くぬぎ組** **【今月の目標】** 様々な環境(自然物、人)との関わりを友達と一緒に楽しむ。

段々と朝晩の冷え込みもあり、衣替えの季節になってきました。子どもたちはドングリや椎の実、コオロギなど秋ならではの物にたくさん触れて楽しんでいます。拾ってきた木の实たちを使って製作物に取り入れたり、飾ったりしてそれぞれ「どんなふうにあそぼう?」「どんなことに使おう?」と考えながら関わっている様子を見てると子どもたちのもつ柔軟性や発想力に驚かされます。また、お友だちの姿に刺激を受けて真似したり、一緒にしてみたりする中で人間関係や感性も広がっていくのだなと微笑ましく感じます。そのような自然を通して関わり合っていく姿を大切に見守っていきたいと思います。少しずつおゆうぎ会に向けて練習も始まってきています。子どもたちと一緒に動きを考えたり、セリフの言い方を考えたりしながら楽しく取り組んでいきたいと思っています。(平澤)



●**さくら組** **【今月の目標】** 秋の自然に触れたくさん身体を動かす。・おゆうぎ会に向け意欲を持って取り組む。

やっと日中の暑さも和らぎ、だんだんと秋の気候を感じられるようになってきました。戸外でも活動しやすくなったため元気に身体を動かして遊ぶ姿も増え、園庭では子ども達の笑顔と笑い声が溢れています。10月には年齢別の時間も多く、それぞれの年齢で年齢ごとに必要な活動や年齢別ならではの活動に取り組むことができました。異年齢、年齢別ではそれぞれ得られるものが違うのでその両方を経験出来る事は子ども達にとってとても有意義なことだと感じます。11月からは本格的におゆうぎ会に向けての練習が始まっていきます。さくらぐみではダンスを取り入れた劇に取り組みたいと思っています。セリフや振り付け、移動など覚えることも多く子ども達にとっては負担になる部分もあるかも知れませんが、練習の頻度・リフレッシュの方法もしっかりと考えながら子ども達が楽しんで取り組めるようにしていきたいと思っています。そして、その中で子ども達の関係が深まったり、達成感を感じたりと得られるものが多い行事となってくれるといいなと思います。この行事を通した中で子ども達の変化、成長を保護者の皆さんも是非楽しみにしててください。(安田)

